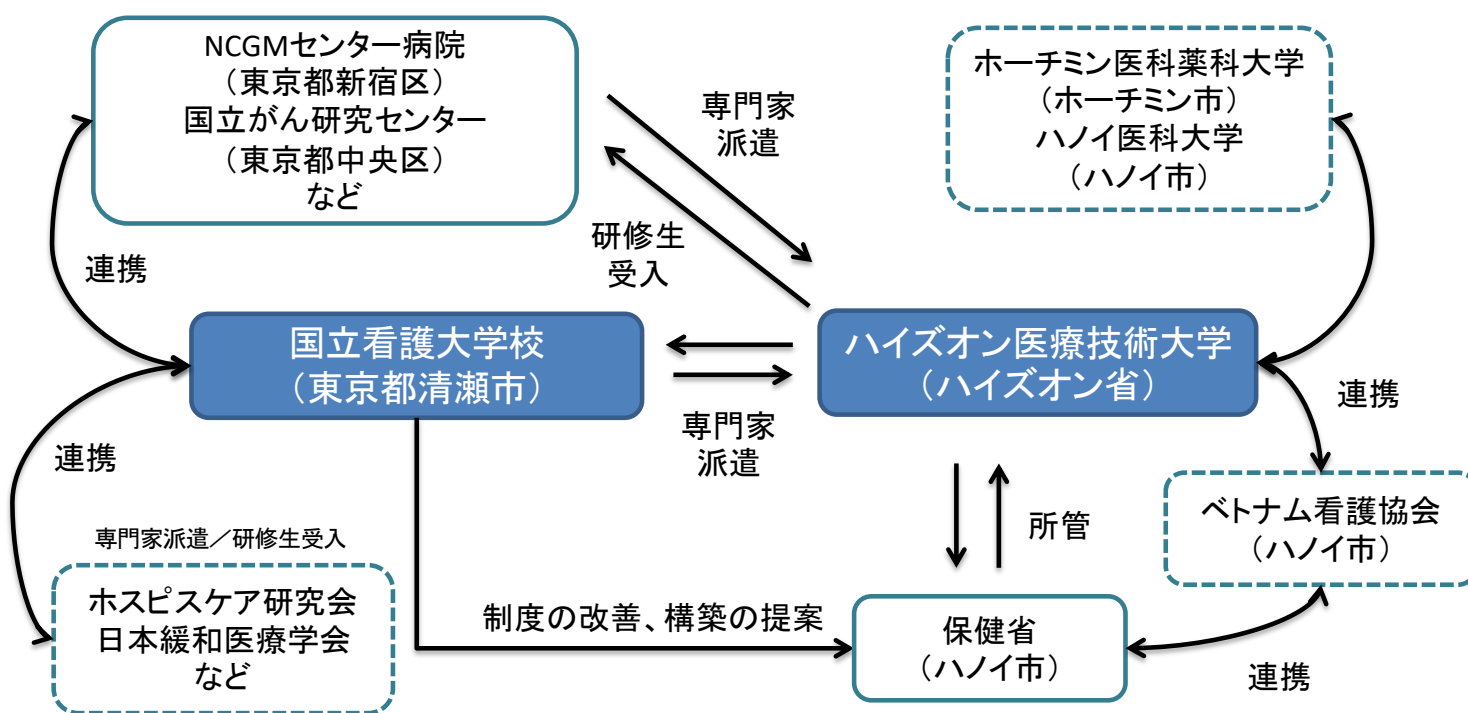


## ベトナム国における医療従事者のための緩和ケア知識と技術の向上

- 1.背景: ベトナム国では死因の上位を非感染性疾患が占め、がん及び非がんの緩和ケアニーズは非常に高いが、ケア提供体制や人材育成は未整備で、緩和ケアへの対策は喫緊の課題である。
- 2.目的: ベトナム国の医療従事者の緩和ケア技術及び知識が向上する。
- 3.概要: 日本の30年以上実践し発展してきた緩和ケアの知識や技術を生かし、国立看護大学校(NCNJ)がハイズオン医療技術大学(HMTU)と、緩和ケアの知識・技術及び制度を修得したり、看護基礎教育に緩和ケア関連科目を導入するための研修を実施する。
- 4.成果・波及効果: NCNJとHMTUがハイズオン省内で研修を実施し、3年後にはベトナム国内で展開するとともに、ハイズオン医療技術大学看護学部カリキュラムに緩和ケアを導入する。



### <研修スケジュール予定>

- 7月 オンライン研修(50名)**
- ・日本の緩和ケア提供の実際
  - ・緩和ケアに関する制度・人材育成に関する講義等
  - ・日本の看護基礎教育における教育内容に関する講義等
- 8月 専門家派遣(6名)**
- ・ベトナムの緩和ケア提供の実際
  - ・ニーズ調査
- 11月 研修生受入(5名)**
- ・日本の緩和ケア提供の実際
  - ・施設視察及び関係者との協議
- 1月 現地研修(20名)**
- ・既存研修、学部教育カリキュラムに関する講義・協議等